

改善プログラムシート【基本事務事業名「青少年の自主活動、社会参加活動を促進する」(生涯学習本部)】

担当部課	青少年課 青少年会館 社会教育課
------	------------------------

基本事務事業の目的 <現在>
青少年がさまざまな活動を通して自立心の向上を図り、社会の変化に対応できる子どもたちを健全に育成することを目的とする。
基本事務事業の目的 <変更後>
子どもたちがさまざまな活動を通して自立心の向上を図り、社会変化に対応できるよう健全育成することを目的とする。
改善によって目指す状態
各所属において青少年の定義の共通理解を図るとともに、類似業務の統合による事務の合理化や活動活発化に向け行政・関係団体等との連携強化を目指す。

1. 事前質問
2. 当日意見
3. 事後検討
4. その他

優先順位	改善内容	改善時期	改善する業務	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法	理由種別
1	業務内容を見直します	～26年度	こどもモニター関係業務 こども新聞発行業務 倉吉市との地域間交流業務	業務内容の充実	こども新聞発行業務及び、倉吉市との地域間交流業務を統合し、こどもモニター関係業務とする。併せて、こどもモニターの選出方法や事業内容を見直す。	3・4
1	講座の開催方法を見直します	～26年度	青少年会館各種講座開催業務	講座内容の向上	・専門部署との連携を深め協議していく。 ・効果・成果を表す指標の設定を検討する。	3
1	青少年団体支援のあり方を見直します	～26年度	青少年団体行事報償費	団体活動の活性化	・青少年団体の交流の場を設けるなど、団体活動の促進を図るとともに、新しい青少年団体が育つ環境を整える。 ・関係団体と協議しながら、青少年達が自ら社会参加ができる支援方法を検討する。	3
2	子ども会への支援のあり方を見直します	～26年度	子ども会支援業務	子ども会活動の活性化	地域、他の青少年健全育成団体と連携し、情報を共有しながら新たな活動方法を検討する。	2
3	青少年会館の施設のあり方を見直します	～26年度	青少年会館施設提供事業 青少年会館施設維持管理業務 青少年会館施設整備業務	利用者の利便性の向上・利用者の増加	団体や個人など地域の力を活用し、市民が利用しやすい会館の運営を検討する。	2
4	業務内容を見直します	～26年度	子ども会支援業務 子ども会活性化対策事業	団体活動の活性化	子ども会活性化対策事業を子ども会支援業務に統合する。	4
	業務内容を見直します	～26年度	非行防止啓発業務	団体活動の活性化	青少年健全育成団体の協力により行う。	4